

No.274

2023年
7月号

さくら

図書館だより



(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

《 展示のご案内 》

展示期間 7月27日(木)まで

★メイン展示

『鉄道 ~乗って 見て 読んで~』

もうすぐ夏休みになりますね。鉄道旅行の計画を立てられている方も、いるのではないのでしょうか。そこで、今月は

- ・鉄道
- ・絵本、よみもの
- ・鉄道物語、鉄道エッセイ

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

- 「60歳からの青春18きっぷ入門」「おしいれ電車」
- 「こども電車」「銀河鉄道の夜」「でんしゃ」
- 「土佐くろしお鉄道殺人事件」「砂の器」
- 「鉄道員(ぼっぼや)」「でんしゃのずかん」

★サブ展示

『ディズニー映画の原作を読もう』

ディズニー映画の原作を集めました。映画で見たことのある作品を、本でも楽しんでください。

●サブ展示図書(抜粋)

- 「不思議の国のアリス」「シンデレラ」「ピノキオ」
- 「ねむりひめ」「美女と野獣」「クマのプー」

絵本作家 ひさまつまゆこさん トークショー&原画展

★トークショー

日時 令和5年7月30日(日)

午後1時~午後1時30分

場所 宿毛文教センター 1階 ホワイエ
(子どもフェスティバル宿毛 会場内)

参加料 無料

申し込み 不要

大型絵本による読み聞かせもあります



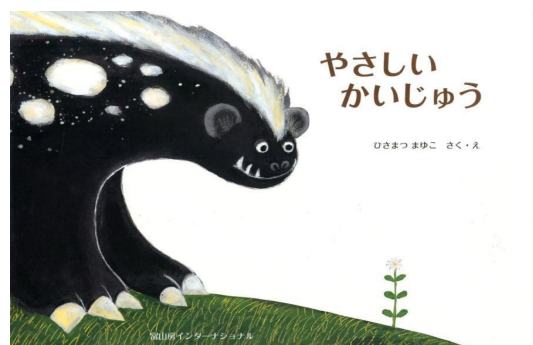
★原画展

日時 令和5年7月30日~8月6日(日)

※最終日は午後3時で終了となります。

場所 宿毛文教センター 1階 ホワイエ
入場料 無料

7月30日(日)は会場内で様々な催しを行います。親子で楽しめるイベントですので、ぜひ、お子さんと一緒にご参加ください。お待ちしております。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

四十雀、跳べ！

林 真理子 著
光文社

カラダにもココロにも「揺らぎ」を感じ始めた40代は成長期でもあり、そして可能性に満ち溢れる年代。仕事、遊び、結婚、出産、なんでもできる。

40代を生きる女性へ、この先を豊かにするための参考書となり、年を重ねる不安より楽しく生きようと思わせてくれる1冊です。

前向きになりたいとき、にぜひ読んでみてください。

(児童)

パンダはどうして パンダになったのか？

王 【ウェイ】 絵
技術評論社

丸いフォルムに白と黒のコントラスト。その可愛らしい外見はもちろんのこと、あどけないしぐさや行動が世界中で広く愛される存在のパンダ。実は、もともと肉食動物でした。なぜ笹や竹を食べるようになったのでしょうか？

パンダが辿ってきた長い歴史を、その始まりから現在まで読みといていきます。

(一般)

セキュリティの笑えないミスと その対策51 どうしてこうなった？

増井 敏克 著
翔泳社

パソコン・スマホを使用していくうえで、便利なサービスなどがたくさんあります。でも、それを使う私たちはセキュリティへの対策は出来ているのでしょうか？実際、企業からこれまで1億人以上の個人情報が出ています。

この本は、仕事・日常生活で実際に起きた事例を紹介し、リスク回避とリスク低減の為の対策を解説しています。知識を身につけ、情報セキュリティの意識を高めてはいかがでしょうか？

(児童)

住みたいくない星ずかん

入澤 宣幸 著
創元社

地球以外の星に住んでみたら…って思ったことはありませんか？火星から来た不動産屋さんのフドちゃんが、太陽系・天の川銀河・銀河宇宙の物件を案内してくれます♪

月では何も聞こえない？金星は灼熱の嵐？天王星は昼と夜が42年ずつ続く？など、“住む”という視点から各星を紹介。さて、住むのにピッタリな星はあるのでしょうか？

それぞれの星の特徴が学べる、楽しい1冊です。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

フォレスト・ガンプとガンプ鈴木さん

山下量子

この程、私のゲストハウスに珍しいお客様に来て頂いた。彼の名前はガンプ鈴木さんという。

ガンプ鈴木さんは足袋姿で人力車を走らせ、スペイン・フランス縦断やオーストリア縦断、アメリカ横断などを達成していて、旅の様子をSNSで配信しており、TikTokのフォロワーは30万人を超えている。

今回、ガンプさんは人力車で四国遍路をまわっている、ということで「是非お会いしたい！」そう思った。そして早速Instagramでガンプさんにメッセージを送った。

「39番札所に来られる際は、是非、寄って下さい。お食事などお接待させていただきます！」

何度か送ったが、お返事は無かった。

が、ある日突然、ガンプさんから、お返事が届き、私の所まで来て下さったのだ。

実際に見たガンプさんは、黒く肌が焼けて、けれども100kgあるという人力車を押しながら走っているせいか、足と腕の筋肉がすごかった。33歳ということで、若々しいイケメンだ。人力車にとりつけた携帯に向かって配信しながら、走りながら私のゲストハウスに到着。周りには、マネージャーや撮影担当者がいて、何台ものカメラや携帯で動画を撮影されていた。

有名人って、常にカメラがまわっているのね・・・

しかしガンプさん本人は気取らず、丁寧で落ち着いた物腰だった。

彼のInstagramのメッセージには、毎日、大量のメッセージが届いており、どうしても全部を見られるわけではないという。が、たまたま、私のメッセージを見つけてくれたそうだ。

フレンドリーなガンプさんは、夕食などもご一緒してくれて、たくさんのお話をしてくれた。

まず、ガンプ鈴木さんのガンプという名前の由来は、トム・ハンクス主演の1994年の名作映画「フォレスト・ガンプ」から来ているそうだ。主人公のフォレスト・ガンプはやや知能指数は劣るが、純粋な心を持ち、1人の女性を一心に愛する男。そしてただただ走る。走る。その姿がいつの間にか、人に影響を与えていく話だ。

「だから僕もただ走る。それで誰かの何かの影響になれば良い」そうガンプさんはおっしゃっていた。

旅を始めたきっかけは、母の言葉だったという。サッカー少年だった彼のヒーローは三浦知良だった。しかし、サッカー推薦で大学に進学するものの、自信ややる気を失っていた。

そんなガンプさんに、お母さんが「だったらブラジル行けば？」と。憧れのカズもブラジルでサッカーを始めたからだ。そこで、素直にガンプさんはブラジルに行った。知り合いのツテも何もないのに。

母との2人暮らしだったというガンプさん。大

学生の息子に単身でブラジルに行かす母は、すごい度胸だと思う。お金もかかっただろう。危険が無い心配もあっただろう。けれども、自信を失ったガンプさんに、なんとか顔を上げて欲しい、そんな思っていたのかもしれない。

ブラジルで彼は、たくさんの人と出会い、旅というものが、どれだけ楽しいかを思い知った。そして、現在の「ライフワークが旅人」となる。

旅というのは一筋縄ではいかないこともあるだろう。トラブルもハプニングも危険もある。でも、何が起こるか分からないからこそ、楽しいのだという。それは、フォレスト・ガンプのキャッチフレーズの「人生はチョコレートの箱、開けてみるまで分からない」というそのものの生き方だと思った。

日本に帰ったガンプさんは、東京に出て、人力車と出会う。また世界に旅に出たいと、人力車で働いて旅のお金を貯めることにした。なんでも猛進して頑張るガンプさんは、すぐに売れっ子ナンバーワンになったという。走って走って走って、旅に出るお金を貯めた。

しかし、ようやくお金が貯まっていざ世界に！という時、お金を預けていた人がお金といっしょに消えた。彼は信じていた人も、頑張って走って稼いだ何百万のお金も一晩で失った。・・・けれども、彼はくじけなかった。

その日は落ち込んだが、またお金を稼ぎ直そう。翌日から彼はまた走って走って、お金を貯めた。そして2023年2月、コロナ禍で途中、中断も強いられたが、ニューヨークからロサンゼルスまで5000kmを人力車で横断を達成する。

途中、旅がキツくなって、笑えなくなっていた時もあったという。そんなとき、ある村のおじいちゃんが「Just for Fun」と言っていた。「ただ楽しむ」「楽しいから、面白いから」そう言った意味だ。その時、彼は、配信や一日40km走るノルマに追われて、楽しむ気持ちを忘れて旅が辛くなっていたことに気づく。

そこから彼はいつも胸に「Just for Fun」を忘れずに走っている。

そして当初、数十人だったフォロワーも7、8年コツコツ走り続け配信していたら、いつの間にか数十万人に増えていったのだという。

・・・今、自分にやれることを、コツコツとやり続けること。楽しむのを忘れないこと。逆境にあっても、くじけずやり続けること。そして目標を最後までやり遂げること。

彼の生き方を自分も見習いたいし、未来を担う子ども達にも是非、見習って欲しい、そう思った。

フォレスト・ガンプのようにただ走る。そこから、ガンプ鈴木さんは自分の生き方を見だし、国を超え、世界に発信し、今でも世界の人々を魅了し続けている。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- 0 「画像生成AIがよくわかる本」 田中秀弥
 1 「あの日、選ばれなかった君へ」 阿部広太郎
 2 「江戸幕府の御家人」 戸森麻衣子
 2 「メキシコ古代都市の謎テオティワカンを掘る」 杉山三郎
 3 「デジタル時代にだまされないための18歳からの「契約」超入門」 遠藤研一郎
 3 「令和版新社会人が本当に知りたいビジネスマナー大全」 増田美子
 3 「ギフトの光と影」 阿部朋美
 4 「親子で観察する身近な雑草図鑑」 天野誠
 4 「人体と病気まるわかり大全」 福富崇浩
 4 「スマホゲーム依存症」 樋口進
 5 「現場のリスク管理と災害未然防止のための不安全行動の防止対策」 金塚憲彦
 5 「ほうれい線が消える！おうちで簡単！美容整体」 井上剛志
 6 「図書館司書32人が選んだ犬の本棚」 高野一枝
 7 「日本のピアニスト」 本間ひろむ
 8 「マネするだけで「文章がうまい」と思われる言葉を1冊にまとめてみた。」 山口拓朗
 9 「笑いと涙の認知症介護」 ワフウフ

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- 「教えて！池上彰さんどうして戦争はなくなるしないの？1～3」 池上彰
 「超高齢社会と認知症について知る本1～3」 長田乾
 「みんなに知ってほしいヤングケアラー1～4」 濱島淑恵
 「あした話したくなるおもしろすぎる漢字の世界」 青木伸生
 「ひとりかもしれない」 岩瀬成子
 「水まきジイサンと図書館の王女さま」 丸山正樹
 「やまもも第47集」 高知県児童詩研究会

絵本



- 「なつやすみ」 麻生知子
 「ぼくらのまちにおいでよ」 大桃洋祐
 「うさぎのパンやさんのいちにち」 かこさとし
 「はらぺこおおかみのデコとボコ」 みやにしたつや
 「障害があってもいっしょだよ！1～6」 マリ・シュー
 「えらいこっちゃ！はじめてのプール」 かさいまり
 「Miffy's birthday」 Dick・Bruna

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

7月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp

■は休館日



【図書館HP】

